

第4回脳科学研究倫理審査委員会 議事録

1. 開催日時：平成20年6月16日（月） 13:30-15:30
2. 開催場所：JST 三番町ビル 特別会議室（7階）
3. 出席委員：杉下委員長、浅川委員、田中委員、内藤委員、二木委員、広瀬委員、武藤委員
(委員 50音順)

4. 議題

- 1) ERATO 浅田共創知能システムプロジェクト「人とロボットのコミュニケーション発達原理の解明」 (変更申請)

概要；同時並行的に

- ①人の視線の動きに対するロボット／人の視線の動かし方（主にコミュニケーションロボット RobovieR2 および、コミュニケーションロボット Repliee-Q2 を用いる）
- ②人の接触に対するロボット／人の全身運動反応（主に人と柔らかく接触可能なヒューマノイドロボットを用いる）
- ③相手の発話や運動に対するロボット／人の模倣の仕方（主に、発話ロボットおよびインタラクティブエージェントを用いる）

の3項目について検討する。具体的には、各項目について、被験者に対してロボットあるいは実験協力者を応答的に振舞わせ、これを被験者とやりとりをさせる、あるいはそのようなやりとりを被験者に観察させる。その際、視線計測装置や運動計測装置などの人の行動を計測するセンサ機器により被験者の反応を計測し、アンケートにより印象を調査する。

結果；「臨床研究に関する倫理指針」および「戦略的創造研究推進事業（総括実施型研究）における脳科学研究に係る倫理の確保に関する達」に照らし、本研究実施計画の実施を可としても差し支えないと判断する。

上記内容を理事長へ答申する。

ただし、同意書は、説明し同意を得た項目が明らかとなるようにチェックリストを入れて修正後、事務局に提出し差し替えること。

- 2) ERATO 浅田共創知能システムプロジェクト「乳幼児の協調的動作生成に関する認知発達の観測（2）」(変更申請)

概要；被験者の発達段階に応じて以下の実験を実施する。

- ①基本運動技能の発達測定：上肢運動、手指の微細運動、歩行・ジャンプ等の全身運動の発達度合いを同時模倣により測定する。
- ②身体的やりとり遊び課題：「せっせっせのよいよいよい」様式の動作のやりとり遊びを実験者または被験者の保護者で行い、各身体部位の形状・軌道・運動周期とその変動を測定する。

- ③リズム運動課題：音楽やリズム音等の聴覚刺激、手遊び・お遊戯等のビデオ映像に合わせたリズム運動中の、各身体部位の形状・軌道・運動周期を測定する。

結果；「臨床研究に関する倫理指針」および「戦略的創造研究推進事業（総括実施型研究）における脳科学研究に係る倫理の確保に関する達」に照らし、本研究実施計画の実施を可としても差し支えないと判断する。

上記内容を理事長へ答申する。

なお、本研究実施計画の実施するにあたって、委員長より下記助言が申請者に伝えられた。

- i) 人材会社からの被験者への事前説明（実験内容説明）を手厚くしてもらおう。
- ii) 筋電位計の取り付け位置については、予備的に検討を行って決める。体育生理の専門家や関連論文などから情報を得て、どういう目的でどの筋からどういう情報を得るのかを決定し、それを被験者に説明するようにしたほうが良い。

以上

平成20年6月16日

脳科学研究倫理審査委員会の構成

委員長	杉下 守弘	財団法人脳血管研究所 教授
委員	浅川 茂樹	独立行政法人理化学研究所 基礎基盤研究推進部仙台研究推進室
委員	田中 里枝	独立行政法人科学技術振興機構 岩田ヒト膜受容体構造プロジェクト 技術参事
委員	内藤 貞夫	内藤貞夫法律事務所 弁護士
委員	二木 宏明	東京大学名誉教授
委員	広瀬 研吉	独立行政法人科学技術振興機構 理事
委員	武藤 香織	東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 准教授
委員	谷田部 雅嗣	日本放送協会 解説委員

(委員 五十音順)